

## ご支援・ご寄付のお願い

現在、多くの人たちが白血病を始めとする血液腫瘍で苦しんでおられます。これらの疾患に対し、最新で最良の医療を提供するのは医療現場の責務であり、科学的根拠（エビデンス）に基づいた医療を行うことが求められています。

エビデンスを創る臨床研究は、倫理性のある研究を科学的に行い、得られた研究成果には客観性があり、かつ、統計学的にみても十分信頼されうる質を備えていなければなりません。そのためには、ヘルシンキ宣言に則った研究を実施すると共に、十分な数の症例が登録されなければならない、発生率がそれほど高くない血液腫瘍では全国的な多施設共同研究が必須です。

わが国では1987年にJapan Adult Leukemia Study Group (JALSG) (<https://www.jalsg.jp/>) が設立され、2018年7月現在、国内227病院が参加し、わが国の医療事情に最も適したエビデンスを創生しつつ、国際的専門誌を通して世界に向け発信しており、日本血液学会造血器腫瘍ガイドラインに記載されている標準的治療の提供にも大いに貢献しています。

JALSGには全国の血液腫瘍専門施設のほとんどが参加して、科学的・倫理的臨床研究を実施していますので、わが国の白血病患者さんのほとんどは世界一と言っても過言でないほどの高いレベルの診療を受けておられます。

しかしながら、このような多施設共同研究を実施するには相当な資金を要し、とりわけ最近では、各病型の遺伝子診断なくしては最先端の研究や医療が実施できなくなっており、かつ、遺伝子異常を標的とした個別化分子標的療法がより重要になっている状況より、遺伝子検査などに多大な費用が必要となっています。加えて、2018年4月より「臨床研究法」が施行され、研究対象となっている患者さんの詳しい経過観察（モニタリング）などを含め、これまで以上のデータセンターの充実が必須となり、そのために多大な費用が必要になっています。

こうした状況から、国立研究開発法人日本医療研究開発機構から得ている競争的科学研究費や参加施設からの年会費だけではJALSGの活動を維持することが困難であるため、2006年に私たちは「特定非営利活動法人 成人白血病治療共同研究支援機構」（略称 NPO-JALSG）を設立しました。本機構は、JALSGの活動支援を第一の事業としつつ、成人白血病を中心とした血液疾患に関する調査研究、教育研修および広汎な情報提供活動等を行い、血液疾患の治療技術、認識を向上させることにより、広く国民の健康増進に貢献しようと努めてまいりました。

皆さまには、本事業の意義を十分ご理解いただき、なにとぞ格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。特に、国際的にも高く評価されているJALSGのような研究者主導の多施設共同研究

グループの重要性をご賢察いただき、わが国の臨床腫瘍研究をなお一層活発化させ、わが国の白血病患者さんにとっての最良の治療法を確立するために、ご支援を心からお願い申し上げる次第です。

なお、いかなる組織・個人からご支援・ご寄付いただくにしても、これによりJALSGの姿勢にいささかなりとも偏りが生じさせることなく、「臨床研究法」の定めるところに従い、常に透明かつ公正な活動をしてまいります。

ご支援・ご寄付いただけます場合には、下記のNPO-JALSG事務局までご連絡いただければ幸いです。

特定非営利活動法人 成人白血病治療共同研究支援機構

理事長 大野 竜三



事務局：特定非営利活動法人 成人白血病治療共同研究支援機構（NPO-JALSG）

〒460-0003

名古屋市中区錦三丁目 6 番 35 号

名古屋郵船ビル 8 階

TEL:052-734-3182 FAX:052-734-2183

E-mail: [npo.jalsg@mcjalsg.jp](mailto:npo.jalsg@mcjalsg.jp)